

海外水インフラコンサルティング

ウォーター・ストレスとは、人の生活や環境の維持に必要な水が確保できない状態をいいます。現在、世界では20億人以上の人々が、ウォーター・ストレスの状態にあり、年々増加しているといわれています。水の惑星=地球だからこそ、水を生かし、水を有効に使う知恵が求められています。

株式会社NJSコンサルタンツ

(株)NJSコンサルタンツは、1976年に(株)NJSの国際事業部として発足し、以来40年余、水と環境のコンサルティング業務をグローバルに展開してきました。2000年に独立し、その海外業務実績は全世界91ヶ国に及び、地球規模で「水と環境」の問題に取り組んでいます。

海外拠点事務所

- フィリピン国マニラ
- スリランカ国コロombo
- バングラディッシュ国チッタゴン
- UAEドバイ
- ヨルダン国アンマン
- ペルー国リマ

主要クライアント

JICA(独立行政法人国際協力機構)、ADB(アジア開発銀行)、WB(世界銀行)、IADB(米州開発銀行)、EBRD(欧州復興開発銀行)、AFDB(アフリカ開発銀行)、WHO(世界保健機関)、クウェート国、UAE、オマーン国など多数

官民連携

海外ではPPPやPFIなどの官民連携案件や、民間主導のプロジェクトも多く、当社でも北九州市様、東京都下水道サービス様、東京都水道サービス様、横浜ウォーター様等と共に積極的に参画しています。

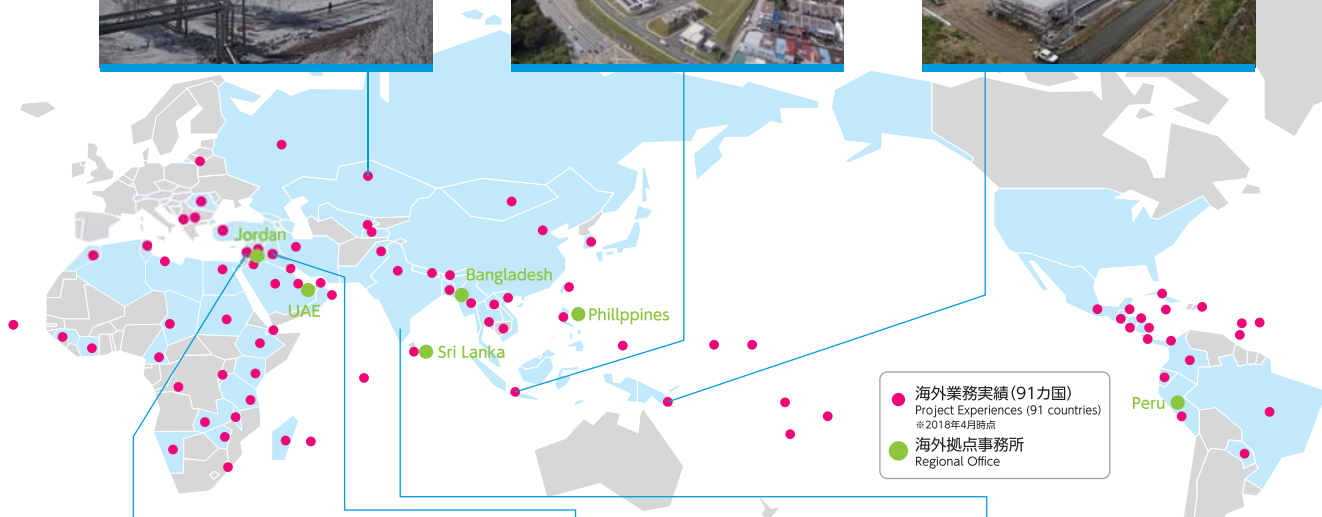
カザフスタン国アстана市上下水道整備
標準活性汚泥法、計画処理水量=136,000m²/日
建設2006~2011



マレーシア国スランガニル下水処理場
Oxidation Ditch法、計画処理水量=37,000m²/日
建設2000~2010



パプアニューギニア国ポートモレスビー市
下水道事業整備事業
Oxidation Ditch法、計画処理水量=25,700m²/日(全体)
建設中、2018現在(初のSTEP案件)



● 海外業務実績(91カ国)
Project Experiences (91 countries)
※2018年4月時点
● 海外拠点事務所
Regional Office



パレスチナ国ジェリコ市下水処理場に
導入されたソーラーパネル
建設 2011~2014



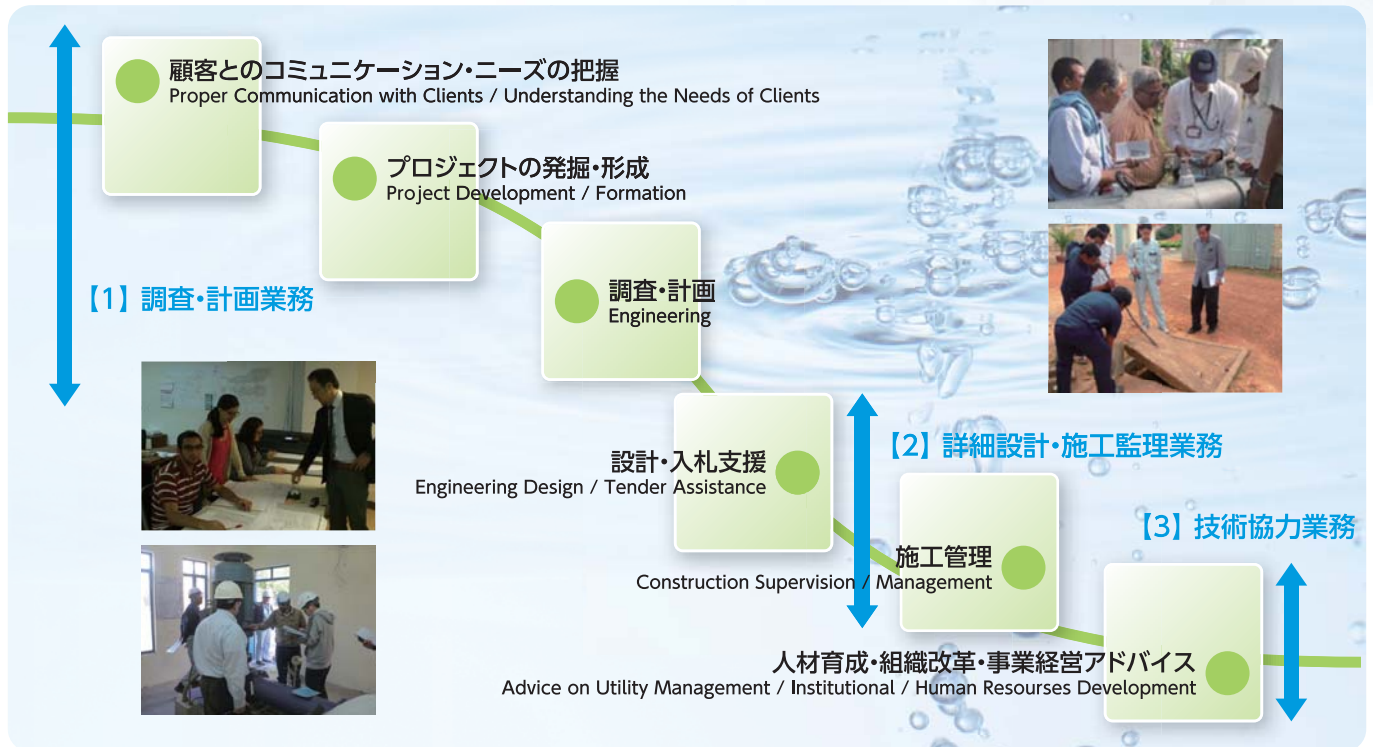
イラク国エルビル市下水処理場
標準活性汚泥法、計画処理水量=800,000m²/日(全体)
計画・設計 2013~2017(未施工)



インド国ハイデラバード市下水処理場
A2O+砂ろ過法、計画処理水量=30,000m²/日
設計・建設2007~2013

業務内容

上下水道分野のリーディングコンサルタントとして、人々と地球環境にやさしい社会を創造するため、これまでに世界のフィールドで培ってきた技術とノウハウを皆様のニーズに合わせてご提供します。そのサービスは、マスタープラン策定、フィージビリティ調査、設計、事業費積算、入札図書作成・入札評価、施工監理、人材育成・運転維持管理指導、組織改善・事業経営アドバイス等と、お客様の幅広いニーズにお応えします。



【1】調査・計画業務：“最初が肝心”

下水道は、地域の健全な水循環を維持するための重要なシステムですが、最近では水循環だけでなく資源の循環やエネルギーの回収面でも着目されています。当社は、下水道システムの機能と特性を踏まえて、地域に最も適した整備手法やマネジメントについて提案します。



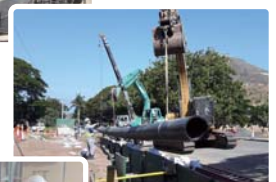
計画パース

【2】詳細設計・施工監理業務：“地図に残る仕事”

- ・国際競争入札の入札支援から施工監理、試運転、引渡し、瑕疵担保期間の監理、工事最終精算までお客さまをサポートします。
- ・施工監理業務においては現地スタッフも多く使い、業務を通じて高いレベルの施工監理ができるように技術移転も同時に行います。



施工状況
下水処理場



施工状況
管渠

【3】技術協力業務：“人材育成無くして成功無し”

対象国の下水道担当局職員的能力強化、人材育成を目的とし、トレーニング、研修等を実施します。具体的にはマスタープランの策定等の具体的な課題を担当職員と一緒に解決したり、パイロットプロジェクトを実施するなどして課題解決の方法を身につけます。



技術指導

水と環境の Consulting & Software



株式会社 NJS

〒105-0023 東京都港区芝浦一丁目1番1号
TEL:03-6324-4355 FAX:03-6324-4356
<http://www.njs.co.jp/>